

新型コロナウイルス感染症緊急空き店舗対策事業

商業金融課

1 事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により増加した商店街の空き店舗を解消し、商店街の再生・活性化を図るため、出店環境の整備・出店に係る経費の一部を補助するもの。

2 事業概要

〔予算額 1億600万円〕

	新規出店者支援事業 【出店者向け支援】	空き店舗リノベーション支援事業 【店舗所有者向け支援】
補助事業の内容	空き店舗を活用し、小売業、飲食業又はサービス業のいずれかを営む場合に、出店に係る経費の一部を補助するもの	店舗規模のミスマッチなどの理由から借り手のつかない状態にある空き店舗を複数店舗に分割するために改装する場合に、その経費の一部を補助するもの
募集期間	令和3年(2021年)11月16日～令和4年(2022年)3月31日	
補助対象となる空き店舗の要件	①熊本市内の商店街団体が形成されている地区に所在する店舗であること ②道路に面した建物1階部分の店舗であり、店舗間口又は壁面が道路から概ね7mの範囲内に位置する店舗であること ③賃貸物件として募集開始から90日以上経過している店舗であること ④商業施設等のテナント型店舗でないこと	
補助対象者	補助対象となる空き店舗に出店する中小企業者で、次のすべてに該当する者 ①補助金の募集開始日以降に空き店舗の所有者と賃貸借契約を締結した者 ②熊本市内の商店街の地区からの移転でない者 ③空き店舗で小売業、飲食業、サービス業のいずれかを営む者 ただし、風営法第2条第5～10号の対象となる営業は対象外	補助対象となる空き店舗を所有する中小企業者
補助対象経費	①店舗の改装に要する外装、内装、設備等の工事費 ②設計費、処分費 ③家賃(上限2か月分) ④礼金 ⑤仲介手数料	①既存店舗を複数店舗に分割するための改装費(壁、天井、床、ドア、窓部分の工事、給排水工事、電気工事、ガス工事に限る。) ②火災報知器や誘導灯等 建築基準法、消防法に基づく設備の購入・設置費用 ③設計費、処分費
補助率	1/2	
補助限度額	150万円	300万円

令和3年12月

第四回定例会

経済委員会資料

農水局

農業委員会

「世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto」の開催について

令和3年(2021年)12月 農水局

1 開催目的

かんがい施設は、農業生産に欠くことのできない水を農地に供給するだけでなく、地域社会・文化の形成や地域住民の豊かな生活に密接に関わってきた重要な地域資源である。本県においても、古くからかんがい施設が数多く築造され、地域の住民や管理組織の努力によって現代に至るまで受け継がれ、これまでに4地区が「世界かんがい施設遺産」の登録を受けており、全国都道府県で第1位の登録数を誇る。

このような中、今後、熊本を起点にかんがい施設の持続的な保全・活用を進めていくための機運を高めていくことを目指し、第4回アジア・太平洋水サミットを契機として開催するもの。

2 開催日程

令和4年(2022年)4月11日(月)～12日(火)

3 主催

世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto 実行委員会

※ 熊本県、熊本県土地改良事業団体連合会、県内の関係市町村・土地改良区で構成

4 内容

(1) 講演会等(1日目)

熊本城ホール シビックホールにて実施 (WEB 配信も実施予定)

① 基調講演

【講演者】 佐藤 洋平 氏 東京大学名誉教授、ICID 日本国内委員会 前委員長

【演 題】 世界かんがい施設遺産の意義とその保続に向けて(仮)

② パネルディスカッション

【テーマ】 世界かんがい施設遺産の保全と利活用 ～ 熊本から考える(仮)

【コーディネーター】

岡 洋一 氏 舩ワークス有限会社 代表取締役

濱 武英 氏 京都大学大学院農学研究科 准教授

※ パネリストについては、大学研究者(熊本大学)、行政関係者(熊本県)、農業者(通潤地区)、市民団体(Shirakawa Banks)、県内高校生(ユース水フォーラムくまもと)などを予定している。

③ 大会宣言

(2) 流域別現地検討会(エクスカージョン)(2日目)

県内の世界かんがい施設遺産が所在する河川流域で実施(4コース)

【菊池川コース】 菊池のかんがい用水群(令和元年度登録)

【白川コース】 白川流域かんがい用水群(平成30年度登録)

【緑川コース】 通潤用水(平成26年度登録)

【球磨川コース】 幸野溝・百太郎溝水路群(平成28年度登録)

5 参加者

世界かんがい施設遺産登録地区の施設管理者(土地改良区等)・市町村、都道府県、都道府県土地改良事業団体連合会、農林水産省、学識経験者などの国内関係者ほか

※1 1日目250名、2日目100名(25名×4コース)程度を想定

※2 一般の方もWEB配信による視聴が可能

以上

令和3年度くまもと春の植木市について

400年以上の長い歴史を持ち、多くの市民に親しまれている熊本の春の風物詩、「くまもと春の植木市」について、今年度も以下のとおり開催する。

1. 期 間 令和4年（2022年）2月1日（火）～3月11日（金）9:30～17:00
[39日間]
2. 場 所 白川橋左岸緑地（白川河川敷）
3. 出展者数 約90業者
4. 出展品目 庭園樹（大物・小物）、盆栽、草花、庭石、造園、鉢物、石灯笼、銘木、銘石、観賞魚類、骨董品等
5. 主 催 くまもと植木市振興会・熊本市
6. 協 賛 （一財）熊本国際観光コンベンション協会、セルモ、熊本朝日放送、福德開発、えがお、マルキン食品、熊本都市バス、熊本シティエフエム、熊本放送、テレビ熊本、向山繁栄会、タキイ種苗、サカタのタネ
7. 後 援 熊本県、熊本市地域みどり推進協議会、熊本日日新聞社、熊本県民テレビ、エフエム熊本、西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社
※協賛・後援は11/22現在。
8. **新型コロナウイルス感染拡大防止対策（感染状況によって変更あり）**
 - ・ステージイベントの中止
 - ・入場ゲートを設置し、検温、手指消毒を実施
 - ・来場者（代表者）に接触確認アプリCOCOAのインストール又は連絡先の記載を依頼など
9. 参 考
令和2年度実績
 - ・来場者数 8万5千人（令和元年度実績22万人）
 - ・売上額 約100,000千円（令和元年度実績195,000千円）

・開催の様子

